



園長だより



この写真は、昨年(2025年)の11月末に撮った幼稚園のマキの実です。

槇の実など特段珍しくもないので、その実をとったこともなかったのですが、この日は、子ども達を上を見上げて、たくさんなっているマキの実を見ていました。

マキの木になっている赤や黄色、紫の熟した実が欲しいのかと思ったら、子ども達が欲しかったのは熟した実についている緑色の固い実の方でした。マキの木の周辺には緑色の丸い実がたくさん落ちてい

ました。子ども達はそれを集めるうち、上を見上げたらたくさんの実がなっているのを発見し見上げていたことのようにです。

折角だからマキの実をとってあげようと思い、脚立を持ってきて「緑色のところは毒があるけん、食べたらいかんよ。」と言って子ども達に採った実を渡すと、なんと、赤や紫に熟した実の方をポイと捨てて、緑の固い実の方を集めています。“あれっ? おいおい捨てる方が違ってるよ”そこで「緑色の方は食べられんけど、赤くなった方は甘くて美味しいんだよ。」と言って食べて見せました。初めは怪訝そうな顔で見ていた子ども達でしたが、一人の子が“ほんとかなあ”という顔をして熟した方の実をパクっと食べたら、表情が一変! 「もう一つとってえ!」・・・緑の固い方の実は毒だから絶対かじったり食べたりしたらだめだよと何回も言いつつ子ども達に採ってあげました。

それから2か月。まだマキの木には赤く熟した実がいくつもついています。それを見上げる子ども達がいいます。もう目当ては緑の固い実ではありません。

また脚立を持ってきて、子ども達にも届く低いところにある枝についた実は脚立に上って採らせたり(安全には十分気を付けています)採ってあげたりして食べさせました。相変わらず「緑の固い実は毒があるけん、絶対に食べたらいかん!」と言いながらですが。

子ども達にマキの実を採ってあげながら、小学生の頃の事を思い出していました。

自分の生活圏(遊びまわっていた近辺)でよく食べたのは、マキの実はさることながら、グミ(お菓子のグミとは違います)やムクの実、ヤブ椿の花の蜜、ズバナ(シュッと抜くと白い穂が出てきた)、スカンポ(スイバ? ギシギシとは違う)他にもあったかな…

《ムクの木とやぎ・・・ムクの実拾いが終わった日》

ムクの実は、熟すと黒い実でみずみずしいものや少し乾燥してシワシワになったものがあります。自分は、シワシワの方が好みでした。近所にあったムクの木は樹高が高く鳥にでもならない限り実は採れないので、地面に落ちた実を拾って食べることになります。ある日、その家の庭に行くと、なんとムクの木にヤギが繋がれているではありませんか。私の目には、ムクの実とヤギの糞がよく似て見えます。ムクの実を食べたいけれどヤギの糞と一緒に転がっている実はチョット・・・その家の人のムクの実拾いは“だ、メェ〜”の合図のヤギつなぎだったかもしれませんね。

※予約票は名前を書いて、**1月30日(金)まで**に提出してください

名前	2/2日(月)	3日(火)	4日(水)	5日(木)	6日(金)	7日(土)
登園時の便	未満児不可	未満児不可	未満児不可	未満児不可	未満児不可	
午後3時過ぎの便					未満児不可	